

カキ生育情報

千葉県
平成30年8月号

平成30年7月の気象

平成30年7月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第6半旬を除く5半旬で平年を上回った。月平均気温は26.6℃で、平年より2.3℃、前年より1.0℃高かった。

降水量は第3及び第6半旬を除く4半旬で平年を下回り、第4及び第5半旬では降雨がなかった。月合計は155mmで、平年の80%と少なかった。

日照時間は第6半旬を除く5半旬で平年を上回った。月合計は256時間で平年の151%、前年の102%であった。

7月28日に台風12号が三宅島付近を通過したが、大きな被害はなかった。

表1 平成30年7月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	25.8	22.7	25.5	7	37	16	42	21	32
2	26.0	23.3	25.0	25	44	0	37	23	50
3	26.8	24.4	25.8	53	38	0	38	25	59
4	27.5	24.7	25.6	0	23	13	53	28	41
5	27.7	25.1	26.4	0	25	0	49	32	37
6	25.5	25.8	25.3	70	27	10	37	42	32
平均/計	26.6	24.3	25.6	155	194	39	256	169	250

樹及び果実の生育

7月末のカキの果径を表2に示した。横径は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.84cm、6.07cm、「富有」が6.25cmであった。平年と比べると「西村早生」は110%、「松本早生富有」は109%、「富有」は111%といずれも大きかった。

縦径は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.36cm、4.38cm、「富有」が4.51cmであった。平年と比べると「西村早生」及び「松本早生富有」は108%、「富有」は107%と、いずれも大きかった。

果形指数は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.34、1.38、「富有」が1.39であった。平年と比べると、いずれの品種も平年並かやや大きく、横長の傾向であった。

本年の果実の発育は、前回の調査に引き続き3品種とも良好であった。特に横径は、市原市の「松本早生富有」を除き、調査開始以来最も大きかった。日照時間の長さや高温が果実肥大を促進したと考えられる。一方で、強い日射による日焼け果の発生が多く観察される。

表2 果実の生育（7月末調査）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	5.76	5.25	5.27	4.25	4.08	4.29	1.36	1.29	1.23
	暖地園研	5.93	5.36	5.72	4.48	4.02	4.40	1.32	1.33	1.30
	平 均	5.84	5.30	5.49	4.36	4.05	4.35	1.34	1.31	1.26
松本早生	市 原 市	5.73	5.47	4.84	4.29	3.97	3.79	1.34	1.38	1.28
	富 有 暖地園研	6.40	5.62	5.99	4.47	4.12	4.35	1.43	1.37	1.38
	平 均	6.07	5.54	5.41	4.38	4.05	4.07	1.38	1.37	1.33
富 有	暖地園研	6.25	5.61	5.87	4.51	4.22	4.35	1.39	1.33	1.35

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2017年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2017年の平均

8～9月の作業

摘 果

「西村早生」では、8月下旬頃(着色開始期)から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

枝管理

秋雨による汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝は、枝支えやつり上げを行う。2次伸長枝は8月下旬～9月上旬頃に充実した部分まで切り返して除去する。

かん水

かん水は果実肥大の促進、樹勢の維持向上、翌年の花芽数の増加等の効果が期待できる。作土の浅い園や乾燥しやすい園では積極的に行う。

収 穫

例年は9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まるが、本年は生育が早まっているため注意が必要である。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、黒変を避けるため丁寧に扱う。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

病害虫防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病、落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。9月上旬～中旬にはカキノヘタムシガやフジコナカイガラムシの防除のため、バンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降が防除適期である。防除は千葉県農作物病害虫雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>